



カーブ、ブレーキング、コーナリングなどの運転技術はもちろん、お茶などのサービスドリンクやおしぼりなど、事前に準備し、「走る応接室」を目指している。「お客さまのご体調にも注意を払いながら、対応させていただくことも大切な仕事です」



ザ・ロイヤル・ハイヤーが提供するロールス・ロイス。最高級の革のシートによる乗り心地は最高だ。日本が誇るセンチュリーやアルファード（左下）も人気がある

ハ

ハイヤー需要高まる仙台。(株)清月記が導入10年

観光、結婚式、VIP、インバウンドなど多様化

仙台に専門の都市型ハイヤーサービスが登場して10年。VIP、新郎新婦の送迎、インバウンドを含めた観光から、シニア層を中心によりパーソナルな専用車として広がりを見せている。

ハイヤーは、タクシーと同じように、目的地まで乗客を安全に送り届けるサービス。タクシーは、乗車した場所から降車した場所までの利用区間が運賃の対象となるが、ハイヤーは完全予約制のため、車両が営業所を出発して再び営業所に戻ってくるまでの運賃が対象となる。これが、タクシーとハイヤーの大きな違い。

ハイヤーは、運転手付きの貸し切り乗用車で、使用する車両もクラウンやセンチュリーといった高級車が使われ、顧客先のVIP、大手企業の役員、新郎新婦の送迎や記念撮影などで使われることが多く、国家行事

では、各国首脳や大使を送迎するため日本全国のハイヤーが活躍した。しかし、一部エグゼクティブの乗り物だったハイヤー需要がいま様変わりしている。

シニアの免許返納、若者の車所有離れなども背景
仙台で都市型ハイヤーを導入、今年で10年目を迎えるザ・ロイヤル・ハイヤーを運営する(株)清月記の菅原啓太専務取締役は、高まる需要の背景をこう説明する。

「車を個人的に所有する時代ではなく、なってきていることが大きな背景にあります。また都

天皇陛下即位の礼でも活躍「大切な人」との上質な時間を提供する

市部を中心に、運転リスクを回避するため高齢者の免許返納が進んでいること、若者が車の所有からシェアする感覚になってきていること、そしてここ数年のインバウンド需要の高まりがあります。

ザ・ロイヤル・ハイヤーでは、23年1年間で約500回の依頼を受け、そのうち旅行会社や旅館ホテルからの要請が4分の1と、観光客絡みが多いが、最近では「買い物や病院への送迎などよりパーソナル需要が増えている」(前同)という。

インバウンド需要によるハイヤー利用が伸びている。23年の仙台市観光統計では観光客入れ込み数は前年比131%の252.3万人。インバウンド宿泊者数は同98.7%の33万8559人とコロナ禍前に戻った。

同社が所有、提供する車種は、世界の高級車を代表するロールス・ロイスやセンチュリー、クラウン、アルファードの13台。



伊藤学
(株)清月記車両部
運行責任者

天皇陛下の即位の礼では、3カ国の大使ら海外VIPを送迎するためザ・ロイヤル・ハイヤーが活躍した。

「桜の名所を巡りたい」など、よりパーソナル化

担当する同社車両部運行責任者の伊藤学主任は、「運転技術ばかりではなく話し方や礼儀など、清月記クオリティを維持しながら、運転手としての教育を徹底した上で、いかにお客さまに寄り添ったサービスができるか、事前に何度も打合せを行うなど対応させていただいており、どこだけ良いものを提供できるかが使命です」と語る。最近では「桜の名所を巡りたい」、「美味しい牛タン店を回りたい」など、パーソナルに使われるケースが増えているという。

菅原専務は「お客さまの大切な人々との1日を、ザ・ロイヤル・ハイヤーが提供する特別な空間と時間を共有していただき、価値を見いだしてもらえれば」と語る。

海外と仙台空港との直行便が増えたのに伴い、今後は英会話能力のある運転手採用を強化していく予定だ。